

世界史

〔 I 〕 次の文章を読み、設問 1～8 に答えなさい。(50点)

早くから農耕・牧畜⁽¹⁾が始まったオリエントの大河流域では、灌漑農業を基盤に文明が形成された。ティグリス川・ユーフラテス川流域では、紀元前3000年頃にシュメール人の諸都市国家が成立した。これらの都市は、前24世紀に（ a ）が率いるアッカド人に征服された。アッカド人の国家はまもなく衰えたが、その⁽²⁾後もメソポタミアはしばしば周辺諸民族の影響を受けた。一方、ナイル川流域のエジプトは、前3000年頃に統一国家が成立した後、新王国の時代までは比較的よく統一性を維持したが、中王国時代の末期にはシリアから侵入したヒクソスに一時支配された。

オリエントは、前7世紀前半にアッシリアによって統一された。その後、を都とするメディアなど四つの王国の分立を経て、イラン人の（ b ）が樹立したアケメネス朝⁽³⁾は、第3代の（ c ）の時代にエーゲ海北岸からインダス川に及ぶ広大な帝国となった。さらに前4世紀には、アレクサンドロス大王がギリシアからエジプト・ペルシア・インド西北部に及ぶ大帝国を築いた。この大王の死後、プトレマイオス朝が支配したエジプトは、前1世紀にローマの領域となる。一方、西アジアを継承したセレウコス朝は、まもなく弱体化した。この王朝から自立したイラン系遊牧民の族長（ d ）が建てたパルティアは、前2世紀にメソポタミアに領域を拡大し、ティグリス川東岸のを都としつつ、東西交易で繁栄した。紀元後3世紀前半、イラン人の（ e ）がパルティアを倒して建てたササン朝もに都をおきつつ、西アジアを支配した。

7世紀半ばから8世紀初めにかけてのアラブ人の征服活動によって、中央アジアからイベリア半島に至る範囲がムスリムの支配下に入った。当初、ウンマの統治の中心はアラビア半島のメディナにあったが、（ f ）が開いたウマイヤ朝はシリアのを都とし、さらに750年に成立したアッバース朝の第2代

カリフの（ g ）は、ティグリス川西岸に新都バグダードを造営した。アッバース朝の領域は地方政権の自立によって徐々に解体し、10世紀にはブワイフ朝⁽⁴⁾がイラン・イラクを支配するようになり、また北アフリカにおこったファーティマ朝はエジプトを征服してシリアにも進出した。

11世紀に入ると、（ h ）が樹立したトルコ系のセルジューク朝が西進し、イラン・イラク・シリアを支配した。さらに、ビザンツ領だったアナトリアは、ルーム＝セルジューク朝の下でトルコ化とイスラーム化が進んだ。一方、北イラクではザンギー朝が自立してシリアに進出し、この王朝の武将だった（ i ）はエジプトでアイユブ朝を樹立し、やがてシリアをも手中にした。これらの領域は、13世紀にマムルーク朝によって継承される。他方で、アム川流域でセルジューク朝から自立したホラズム朝は中央アジア・イランを支配したが、13世紀にモンゴル帝国が成立すると、イラン・イラクはイル＝ハン国に支配され、次いで14世紀後半には、西チャガタイ＝ハン国出身のティムール⁽⁵⁾が建てた王朝の領域となった。ティムール朝が弱体化するとトルコ系遊牧民の勢力が増し、その軍事力を組織した神秘主義教団の教主（ j ）は、16世紀初めに

エ

 を占領し、同地を都とするサファヴィー朝⁽⁶⁾を開いた。同朝の支配はイラン全土に及んだが、バルカン・アナトリアからアラブ地域に領域を広げつつあったオスマン帝国は、これに対抗してイラクをも支配下においた。

設問 1 文中の (a) ~ (j) に入る最も適切な人名を次の語群から
選び、番号を解答欄 I - A に記入しなさい。

【語群】

1. アイバク
2. アウラングゼーブ
3. アクバル
4. アッシュルバニパル王
5. アブド=アッラフマーン 3 世
6. アブー=バクル
7. アメンホテプ (アメンヘテプ) 4 世
8. アリー
9. アルサケス
10. アルダシール (アルデシール) 1 世
11. イスマーイール 1 世
12. ウスマーン
13. ウマル
14. ウルグ=ベク
15. ガザン=ハン
16. カフラー王
17. キュロス 2 世
18. サラーフ=アッディーン
19. サルゴン 1 世
20. シャープール 1 世
21. スレイマン 1 世
22. セリム 1 世
23. ソロモン王
24. ダヴィデ王
25. ダレイオス 1 世
26. トゥグリル=ベク
27. ニザーム=アルムルク
28. ネブカドネザル 2 世
29. バイバルス
30. ハサン
31. バーブル
32. バヤジット 1 世
33. ハールーン=アッラシード
34. ハンムラビ王
35. フサイン
36. フラグ
37. ホスロー 1 世
38. マンスール
39. ムアーウィヤ
40. ラメス 2 世

設問 2 下線部(1)について、農耕・牧畜の始まりに関する記述として誤っている
ものを、次の 1 ~ 4 から一つ選び、番号を解答欄 I - B に記入しなさい。

1. 約 1 万年前の氷期の終わりは、獲得経済から生産経済への移行を促した。
2. 打製石器の使用によって始まった時代は、新石器時代とよばれる。
3. 黄河流域ではアワ・キビ、長江流域では米 (稲) が栽培されるようになった。
4. 西アジアでは、羊や牛が飼育されるようになった。

設問3 下線部(2)に関連して、メソポタミアおよびその周辺の動向について述べた次の文①～③について、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の選択肢1～6のうちから一つ選び、番号を解答欄I-Bに記入しなさい。

- ① カッシート人はメソポタミア南部、ミタンニ王国はメソポタミア北部を支配した。
- ② アムル人が古バビロニア王国（バビロン第1王朝）を建てた。
- ③ アナトリア（小アジア）でヒッタイト人が強力な国家を建設した。

1. ①—②—③ 2. ①—③—② 3. ②—①—③
4. ②—③—① 5. ③—①—② 6. ③—②—①

設問4 下線部(3)について、アケメネス朝に関する記述として誤っているものを、次の1～4から一つ選び、番号を解答欄I-Bに記入しなさい。

1. スサとサルデイス（サルデス）を結ぶ「王の道」を整備した。
2. 独自の楔形文字であるペルシア文字がつけられた。
3. ゴロアスター教とその他の宗教を融合したマニ教が生まれた。
4. フェニキア人やアラム人の商業活動を保護した。

設問5 下線部(4)のプワイフ朝に関する次の記述(a)(b)について、(a)(b)ともに正しい場合は数字1、(a)のみ正しい場合は数字2、(b)のみ正しい場合は数字3、(a)(b)ともに正しくない場合は数字4を、解答欄I-Bに記入しなさい。

- (a) プワイフ朝の君主は、ファーティマ朝カリフからスルタンの称号を得た。
- (b) 軍人に土地の徴税権を与えるかわりに俸給を支払うイクター制が施行された。

設問6 下線部(5)について、ティムールおよびティムール朝に関する記述として正しいものを、次の1～4から一つ選び、番号を解答欄I-Bに記入しなさい。

1. ティムールは、ヘラートを都として王朝を建てた。
2. ティムールは、ハルジー朝の領内に侵入した。
3. ティムールは、アンカラの戦いでオスマン朝に敗れた。
4. ティムール朝は、遊牧ウズベクによって滅ぼされた。

設問7 下線部(6)について、サファヴィー朝に関する記述として正しいものを、次の1～4から一つ選び、番号を解答欄I-Bに記入しなさい。

1. サファヴィー朝は、十二イマーム派を国教とした。
2. アッバース1世は、ホルムズ島をポルトガル人に奪われた。
3. アッバース1世は、首都をテヘランに移した。
4. サファヴィー朝は、カージャール（ガージャール）朝によって滅ぼされた。

設問8 文中の ～ に入る最も適切な都市の名称を、解答欄I-Cにカタカナで記入しなさい。ただし、 ・ ・ は5文字、 は6文字とする。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問1～11に答えなさい。

(50点)

17世紀のイギリスやフランスでは、商業的な繁栄を謳歌していた海洋帝国オランダに対抗すべく、(a) 政策が採られた。海外貿易特許を持つ会社が設立され、また、イギリスはオランダを標的として本国と植民地への外国船籍の入港などを制限する一連の法を制定して、オランダの海上覇権に挑んだ。

これらのヨーロッパ諸国の勢力争いは、大西洋の先の「新世界」でも繰り広げられた。アメリカ大陸やカリブ海の西インド諸島では植民地開発が進められ、これらの地域ではヨーロッパにおける需要に応えるべく、次々と農産物を栽培するプランテーションが建設された。それらのプランテーションにおける中心的な労働力となったのが、アフリカから奴隷貿易によって連れてこられた黒人奴隷であった。

アフリカ各地は16世紀までに、ムスリム商人の商業活動に影響を受けて経済的に繁栄した。アフリカ東部のエチオピア高原では、4世紀以降(b) 教徒が支配したアクスム王国が金、奴隷、(c) の輸出で栄えていたが、各地のムスリム王朝が繁栄するとアフリカ東岸部ではアラブやペルシア系のムスリム商人が(d) 船によるインド洋交易に従事した。アフリカ南東部ザンベジ川南部では15世紀ごろから(e) 王国においてムスリム商人を介して金や(c) の輸出が栄え、11世紀ごろに支配領域がピークに達した西アフリカの(f) 王国でもまた、ムスリム商人が金やサハラ砂漠の塩の輸出入を取り扱っていた。このように、ヨーロッパ人がアフリカに数々の貿易拠点を築く以前から、アフリカ各地で金や(c) は重要な輸出品として交易されていた。

イギリス、フランス、ポルトガル、オランダなどヨーロッパの国々は、アフリカの金や(c)、そしてプランテーションの労働力とするべく奴隷を獲得するため、西アフリカ沿岸部に次々と貿易拠点を築いた。大西洋の三角貿易では、ヨーロッパからアフリカへガラス、武器、綿製品、その他雑多な工業製品を輸出して代わりに奴隷や(c) を手に入れ、次にアメリカ大陸や西インド諸島のプランテーションに奴隷を輸出した。プランテーションでは奴隷労働力の酷使によって、砂糖、タバコ、綿花などが生産され、それらの植民地物産がヨーロッパ

に輸出された。

三角貿易は、関与していたヨーロッパ諸国に大きな富をもたらした。とくにイギリスの綿工業では、その原料となる綿花は当初は西インド諸島の、そしてのちに北米のプランテーションで生産されたものであった。初期のイギリス綿工業の成功は、原料入手の面でも綿製品輸出の面でも、三角貿易と密接に結びついていた。

一方、西アフリカの（ g ）王国やダホメ王国のように、積極的に奴隷を獲得してヨーロッパ人に販売することで奴隷貿易に経済依存する地域も現れた。その結果、西アフリカの人口は停滞し、働き手を失った社会経済の発展が阻害された。

そしてプランテーションが乱立するアメリカ大陸や西インド諸島は、特定の作物の生産に特化して依存する産業構造に陥ってしまった。また、それは土壤の劣化によってもたらされる環境破壊につながった。

これらの支配と従属の経済体制は、植民地が独立を遂げ、奴隷貿易が廃止されてからも、各地に大きな影響を残した。アフリカでは、19世紀後半からヨーロッパ諸国によるアフリカ分割によってアフリカ大陸の内陸部にまで支配が進んだ。一方、カリブ・ラテンアメリカでは、ハイチの（ h ）を指導者とした奴隷蜂起によって1804年に世界初の黒人共和国が誕生し、ベネズエラやコロンビアも（ i ）の指導のもと独立を遂げた。アルゼンチン、チリ、ペルー、メキシコ、ブラジルなど、ラテンアメリカの諸国の独立が相次いだが、その後も人種間・出身地間にはヨーロッパ生まれを頂点とし、次いで植民地生まれで白人入植者の子孫である（ j ）、混血の者、奴隷などからなる厳しい社会階層が残り、貧富の差や単一作物の生産と輸出に依存する歪な産業構造に苦しんだ。

設問1 文中の（ a ）～（ j ）に入る最も適切な語句を次の語群から選
び、番号を解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|-----------------------------------|--------------|--------------|
| 1. アチェ | 2. イダルゴ | 3. ガーナ |
| 4. カネム＝ボルヌー王国 | | 5. ガレー |
| 6. ガレオン | 7. 絹 | 8. キリスト |
| 9. クシュ | 10. クリオーリヨ | 11. 香辛料 |
| 12. 3C | 13. サン＝マルティン | 14. シモン＝ポリバル |
| 15. ジャンク | 16. 重商主義 | 17. 重農主義 |
| 18. 自由貿易 | 19. 象牙 | 20. ソンガイ |
| 21. ダウ | 22. 茶 | 23. ディアス |
| 24. トゥサン＝ルヴェルチュール（トゥサン＝ルーヴェルテュール） | | |
| 25. バティスタ | 26. バラモン | 27. バンテン |
| 28. ヒンドゥー | 29. ファレス | 30. ベニン |
| 31. ベニンスラール | 32. ホセ＝リサール | 33. マタラム |
| 34. マリ | 35. ムラート | |
| 36. メステイーンソ（メステイソ） | | |
| 37. モノモタパ（ムタパ） | | 38. ユダヤ |

設問2 下線部(あ)について、祖国オランダの海洋進出を主張した『海洋自由論』
の著者の名前を、解答欄Ⅱ-Bにカタカナで記入しなさい。

設問3 下線部(い)について、各国のアジア貿易を担った東インド会社の拠点の組合せとして正しいものを、次の1～6から一つ選び、番号を解答欄Ⅱ-Cに記入しなさい。

1. オランダーポンディシエリ
イギリスーカルカッタ, マドラス
フランスージャワ
2. オランダーカルカッタ, マドラス
イギリスージャワ
フランスーポンディシエリ
3. オランダージャワ
イギリスーポンディシエリ
フランスーカルカッタ, マドラス
4. オランダーポンディシエリ
イギリスージャワ
フランスーカルカッタ, マドラス
5. オランダーカルカッタ, マドラス
イギリスーポンディシエリ
フランスージャワ
6. オランダージャワ
イギリスーカルカッタ, マドラス
フランスーポンディシエリ

設問4 下線部(う)について、1651年に制定されたこの法令の名を、解答欄Ⅱ-Bに漢字で記入しなさい。

設問5 下線部(え)に関連して、プランテーションで栽培された農産物に関して述べた次の記述について、(a)(b)ともに正しい場合は数字1、(a)のみ正しい場合は数字2、(b)のみ正しい場合は数字3、(a)(b)ともに正しくない場合は数字4を、解答欄Ⅱ-Cに記入しなさい。

(a) 19世紀のアメリカ合衆国南部におけるプランテーションでは、奴隷労働力によるタバコの強制裁培制度が拡大した。

(b) 綿花を原料としていた綿工業では、マンチェスターを中心に産業革命が始まった。

設問6 下線部(お)について、アメリカから入植した解放奴隷が1847年に建国した西アフリカの国を、解答欄Ⅱ-Bに記入しなさい。

設問7 下線部(か)について、インド洋のアラビア海では夏に南西から、冬に北東から吹く風が、効率的な交易を促進した。この風の名称を、解答欄Ⅱ-Bにカタカナで記入しなさい。

設問8 下線部(き)について、スペインはこのような拠点を積極的にアフリカにもたず、代わりに国内外の商人や会社がスペイン領に奴隷を供給する契約を結んだ。この契約の名称を、解答欄Ⅱ-Bにカタカナで記入しなさい。

設問9 下線部(ク)について、砂糖の原料であるサトウキビは、もともとアメリカ大陸には生育しておらず、ヨーロッパによってアメリカ大陸が「発見」されたことに伴って伝えられた植物である。このように、「新世界」(アメリカ大陸)や「旧世界」(ヨーロッパ、アフリカ、アジア)のそれぞれに新たな動植物や病気が伝わったことを「コロンブスの交換」と呼ぶ。このような交換を通じて「新世界」から「旧世界」に伝わったものの組合せとして正しいものを、次の1～6から一つ選び、番号を解答欄Ⅱ-Cに記入しなさい。

1. コーヒー、ジャガイモ
2. コーヒー、梅毒
3. 落花生、天然痘
4. 落花生、ジャガイモ
5. 牛、梅毒
6. 牛、天然痘

設問10 下線部(ケ)に関連して、イギリスの綿工業に関して述べた次の記述について、(a)(b)ともに正しい場合は数字1、(a)のみ正しい場合は数字2、(b)のみ正しい場合は数字3、(a)(b)ともに正しくない場合は数字4を、解答欄Ⅱ-Cに記入しなさい。

- (a) イギリスで綿織物の機械工業化が始まるまでは、インド産の綿製品が奴隷と交換するために西アフリカへ再輸出されていた。
- (b) アークライトが発明した力織機により、綿織物の生産力が飛躍的に向上した。

設問11 下線部(コ)について、このような経済の名称を、解答欄Ⅱ-Bにカタカナ7文字で記入しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～8に答えなさい。

(50点)

1953年の [ア] の死後、ソ連ではさまざまな改革が始まり、政治的な統制が緩和された。それとともに対外政策の領域では、資本主義国との平和共存路線への転換が試みられた。こうしたソ連の政策の変化とそれによって実現した冷戦の対立の緩和は、「 [イ] 」と呼ばれた。1956年にソ連共産党第20回大会で党第一書記 (a) が [ア] を批判すると、改革の動きはさらに強まっていった。

しかし、この時期にも冷戦の緊張緩和が一貫して続いたわけではない。西欧諸国はアメリカ合衆国の主導で1954年に西ドイツの主権回復と再軍備を認め、翌年には西ドイツが (b) に加盟した。ソ連と東欧諸国はこれに対抗して同年に [ウ] を結成し、ヨーロッパで2つの軍事同盟が対峙することになった。他方で1955年には、米ソ英仏4か国の首脳会談が (c) で実現した。9月にはソ連が西ドイツと国交を結び、1956年には日ソ国交回復が実現した。(d) は、ティトーの下で独自の外交政策を進めようとしてソ連と対立し、1948年に [エ] から除名されたが、この時期にはソ連との関係改善が実現した。 [エ] は1956年に解散した。

中華人民共和国は建国以降、1950年に [オ] 条約に調印するなど、ソ連と緊密な関係を築いていたが、平和共存路線への反発から中国とソ連の関係は悪化していった。また東欧では、政治や経済の改革を求める動きが現れ、1956年にはポーランドとハンガリーで反政府運動が起こった。ポズナン(ポズナニ)で反政府暴動が起こったポーランドでは、その後 (e) の下で、一定の改革が進められた。一方でハンガリーでは、首相が [ウ] からの脱退を表明したため、ソ連軍の介入によって政権が打倒された。

また、この時期にも米ソは競って核戦力を増強しており、キューバ危機の勃発などを経て、1960年代末頃には一方が核攻撃を行えば両国がともに壊滅的な被害を受けるといった状況がつくられた。このことから軍備管理の必要性が認識されるようになり、1968年には米ソの軍備管理交渉の準備が開始された。同年、(f) では検閲が事実上廃止されるなど、政治と経済の本格的な改革が始ま

った。これに対して、8月にソ連軍を中心として、に加盟する5カ国の軍隊が（ f ）に軍事介入したことから、アメリカ合衆国は態度を硬化させ、軍備管理交渉の開始は遅れることになった。しかし、翌年には第1次戦略兵器制限交渉（SALT-I）が開始された。冷戦の対立を緩和しようとする動きが進むなか、西ドイツでは首相（ g ）が、ソ連やポーランド、東ドイツとの関係を改善するために東方外交を行った。ソ連では政治と経済の改革が1980年代後半に本格化し、この改革はと呼ばれた。

設問1 空欄（ a ）～（ g ）に入る最も適切な語句を次の選択肢1～4のうちから一つ選び、解答欄Ⅲ-Aに記入しなさい。

- (a) 1. ゴルバチョフ 2. トロツキー
3. フルシチョフ 4. ブレジネフ
- (b) 1. 北大西洋条約機構（NATO）
2. 国際原子力機関（IAEA）
3. 独立国家共同体（CIS）
4. ヨーロッパ共同体（EC）
- (c) 1. ジュネーヴ 2. パリ
3. ベオグラード 4. ヘルシンキ
- (d) 1. イタリア 2. フランス
3. ポーランド 4. ユーゴスラヴィア
- (e) 1. ゴムウカ 2. ドブチェク
3. ナジ=イムレ 4. ワレサ
- (f) 1. エストニア 2. チェコスロヴァキア
3. ブルガリア 4. ルーマニア
- (g) 1. アデナウアー 2. アトリー
3. ド=ゴール 4. ブラント

設問 2 波線部(1)に関連して、1950年代の国際情勢に関する記述として正しいものを1～4から一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい。

1. 第4次中東戦争により、国際的に石油価格が高騰した。
2. 朝鮮戦争の休戦協定が成立し、朝鮮半島の分断が固定化された。
3. チリではピノチェト大統領のもと、独裁的な政権が誕生した。
4. アメリカ合衆国とフィリピンは、太平洋安全保障条約（ANZUS）を締結した。

設問 3 波線部(2)に関連して、第二次世界大戦後のドイツに関する記述として誤っているものを次の選択肢1～4から一つ選び、解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい。

1. アメリカ合衆国、イギリス、フランスは、1948年に西ドイツ占領区域で通貨改革を行った。
2. 西ドイツは、1954年に国連に加盟した。
3. 東ドイツは、1961年に「ベルリンの壁」を築いた。
4. 東西両ドイツは、1972年に互いを承認した。

設問 4 波線部(3)に関連して、ソ連に関する次の文①～③について、古いものから年代順に正しく配列したものを次の選択肢1～6のうちから一つ選び、解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい。

- ① 米ソ首脳がマルタ会談を開催した。
- ② 第1次五か年計画が実施された。
- ③ 日ソ共同宣言が調印された。

1. ①—②—③

2. ①—③—②

3. ②—①—③

4. ②—③—①

5. ③—①—②

6. ③—②—①

設問5 波線部(4)に関連する次の記述(a)(b)について、(a)(b)ともに正しい場合は数字1、(a)のみ正しい場合は数字2、(b)のみ正しい場合は数字3、(a)(b)ともに正しくない場合は数字4を、解答欄Ⅲ-Bに記入しなさい。

(a) 1969年に、中国とソ連の国境で軍事衝突が起こった。

(b) 1972年にレーガンが訪中し、米中和解の試みが始まった。

設問6 波線部(5)に関連して、第二次世界大戦後のラテンアメリカに関する出来事と人物の組合せとして正しいものを、次の選択肢1～6のうちから一つ選び、解答欄Ⅲ-Bに記入しなさい。

X キューバで1959年に、親米政権を打倒した。

Y チリで1970年代前半に、農地改革や銅鉱山会社の国有化などをすすめた。

a. カストロ

b. バティスタ

c. アジェンデ

1. X—a Y—b 2. X—a Y—c 3. X—b Y—a

4. X—b Y—c 5. X—c Y—a 6. X—c Y—b

設問7 波線部(6)に関連して、核兵器開発について述べた次の文X～Zについて、内容が正しい文の記号の組合せを、次の選択肢1～7から一つ選び、解答欄Ⅲ-Bに記入しなさい。

X 1954年には、ソ連による水爆実験で被爆した第五福竜丸の乗組員が死亡した。

Y 核兵器の廃絶を求める科学者たちは、1957年にパグウォッシュ会議を開催した。

Z 英米仏ソは、1963年に部分的核実験禁止条約に調印した。

1. X 2. Y 3. Z 4. X・Y

5. X・Z 6. Y・Z 7. X・Y・Z

設問8 文中の ～ に入る適切な語句を、以下の指示に従って解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

ア. 空欄 に入る人名を、カタカナで書きなさい。

イ. 空欄 に入る語句を、漢字とひらがなを合わせて3文字で書きなさい。

ウ. 空欄 に入る語句を、漢字とカタカナを合わせて書きなさい。

エ. 空欄 に入る語句を、カタカナで書きなさい。

オ. 空欄 に入る語句を、漢字とカタカナを合わせて書きなさい。

カ. 空欄 に入る「立て直し」を意味する語句を、カタカナで書きなさい。